



写真はピンカ。ペチュニア、ポーチュラカなども使える

始めよう+ガーデニング

夏のハンギングバスケット

指導・製作：園芸研究家 中道徹三郎さん
協力：ガーデニングショップ金久
大阪府泉佐野市日根野2545
☎0724-67-2413
<http://www.eonet.ne.jp/~tetsu-naka/>

壁や玄関先を立体的に飾れ、ひと味違うガーデニングが楽しめます。1種類の植物で作る場合は、咲いた時を想像しながら苗の色を組み合わせましょう。ペゴニアやインパチェンスは育てやすく、初心者にもチャレンジしやすいですよ。

うまく作るコツは良い土と苗。水持ちと水はけの良いバスケット専用土かプロ用の種まき専用土を使います。苗は出来るだけ若くて根の詰まっていないものを選びます。鉢と違って植え替えが出来ないので、下の段から順に丈夫な苗を植えます。出来上がれば、日当たりの良い場所に置きましょう。

✦ 水やり バスケットは狭いので、夏場は1日1回、下から落ちるまでたっぷり水をやりませう。少雨の後でも水やりを忘れないことが大切です。

✦ 刈り込み 株が大きくなったら思い切って刈り込みませう。新しい元気な芽が出て美しい花を咲かせませう。特に、気候の変わり目の梅雨明けやお盆過ぎなどに思い切って刈り込むと、新芽は天候に順応してよく育ちませう。



刈り込み前後。大胆に切る方が元気な芽が出て美しい花が咲く

植えてみよう！

＜材料＞



ウレタン200円、ワイヤバスケット350円、肥料入りの専用土400円、苗（写真はペゴニア）100～200円×12本。
※費用は概算。

1 ウレタンをバスケットの大きさに合わせて筒状に巻く。合わせ目を1～2箇所重ねて上と下の2点をホチキスで留める。



2 筒の内側に手を入れ、合わせ目の部分を少し引っ張ると、自然に外側が合わせ目にかぶさって底が出来る。合わせ目を後ろ側にし、ウレタンの上部2箇所程をバスケットからはみ出させて入れる。



3 苗の土は下部と外側を適当に取り除き半分ぐらいにする。ポットを根の大きさに合わせて切り、ウレタンに差し込む根巻きを作る。

4 苗の差し込み口は横に3～4箇所切る。先が細くなるように根巻きで根を包む。苗の根元まで差し込んだら根巻きをはずす。直径30mmのバスケットで1段に3株ずつ、出来上がり写真のように苗をずらして差し込むと、きれいに葉が広がります。



5 バスケットの上部に最後の3本の苗を植え、必ずウオータースペースを2～3箇所残して土を入れる。



6 バスケットの後方に棒を差し込み、土を前方へ押し出す。肥料が少ない場合は棒を抜いた跡に緩効性肥料を入れる。

7 下からしたたり落ちるまで、何回かに分けてたっぷり水をやる。



出来上がり